

〔評価結果の公表様式〕

愛知県福祉サービス第三者評価事業 評価結果

①第三者評価機関情報

評価機関名：株式会社 中部評価センター (認証番号：21地福第785号)
訪問調査 実施日：平成23年12月15日(木)

②事業者情報

名称：(法人名)社会福祉法人相和福祉会 (施設名)中畑保育園	種別：(施設種別)保育所 (基準の種類)児童福祉施設(保育所版)
代表者氏名：(施設長) 桑 圭子	定員(利用人数)：150名
所在地：〒444-0304 愛知県西尾市中畑二丁目34番地	TEL 0563-59-6820

③総評

◇特に評価の高い点

地域の子育てに対するニーズを把握して、子育て支援センターを敷地内に設立している。地域の未就園児に園庭を開放しており、地域の子どもたちにとって馴染み深い遊び場の一つとなっている。また、子育ての不安や悩みを打ち明けられる場としても活用されており、今後の発展が期待できる。

利用者の満足度向上の取り組みとして、行事ごとにアンケートを実施している。発表会の観覧入れ替えなど、具体的な提案があり、父母会と協力して検討・改善している。

また、定期的に懇談会を開き、保護者に家庭での生活についての相談に応じている。家族アンケートからも、個別面談で担任の先生としっかり話すことができると、感謝の声が上がっている。個別面談で知り得た情報を含めてアセスメントを行い、保育計画の作成に取り組んでいる。

自己評価を職員全員で実施しており、職員個々に気づきを得て具体的な課題が上がっている。気づきを共有して、課題に取り組み、事業計画がさらに充実したものとなることが期待される。

◇改善を求められる点

事業計画の作成・評価については、園長・主任保育士が主体となっているが、事業計画作成に向けて職員間で情報を分析し、策定する仕組みの構築が望まれる。

職員は、自己評価の実施段階で、子どもの自発的な活動の場が少ないとの気づきを得ている。園内には、活用できる空間もある。子どもの主体的な活動の場としてコーナー遊び場などを設け、長時間保育にも対応した取り組みとなることを期待したい。

長時間駐車の問題など、園の抱えている課題も目線を変えて検討すれば、新たな気づきにつながる可能性がある。職員間で情報交換や新しいアイデアの抽出を図り、さらなる実践事例につながる取り組みに期待したい。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回の第三者評価には、全職員で取り組みました。自己評価をする中で、現在自園の抱えている課題が明確になりました。また、全職員で取り組んだことにより、課題に対して、同じ方向を向いて、取り組んでいくことが出来るようになったと思います。早速次年度の事業計画等職員間で策定をするなど、前向きな取組みを開始しています。今回受審した内容を真摯に受け止め、職員全体で取り組むことにより、より良い保育所になることが出来るよう、努めていきたいと思っています。

⑤第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

評価項目(細目)の評価結果(保育所)

※すべての評価細目(82項目)について、判断基準(の3段階)に基づいた評価結果を表示する。

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果	
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。			
	I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	保 1	Ⓐ ・ b ・ c
	I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	保 2	Ⓐ ・ b ・ c
I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。			
	I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	保 3	Ⓐ ・ b ・ c
	I-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	保 4	Ⓐ ・ b ・ c

評価機関のコメント

法人基本理念を基に、園独自の保育理念を掲げている。また、保育方針を具体的に3つ掲げており、子どもの自主性を育み自立できる子ども像を目指している。
職員は基本方針が書かれたカードを携行しており、常時振り返ることができる。保護者へは、入園説明の際に資料を配布して、説明する時間を設けている。

I-2 事業計画の策定

		第三者評価結果	
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	保 5	Ⓐ ・ b ・ c
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	保 6	Ⓐ ・ b ・ c
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。			
	I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	保 7	a ・ Ⓑ ・ c
	I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	保 8	a ・ Ⓑ ・ c
	I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	保 9	a ・ Ⓑ ・ c

評価機関のコメント

中・長期計画を策定し、法人内会議の場で報告している。利用者満足度の向上に向けて、モンテッソーリ教育や地域との連携を中・長期計画の一つに盛り込んでいる。また、それに伴った事業計画を充実した項目で策定している。中・長期計画の内容をさらに具体化することにより、事業計画の目標項目も具体化され明確になることが期待できる。
ただし、計画策定に関しては園長主体で行われており、職員の巻き込みは少ない。今回の第三者評価受審において、「次回より、事業計画の作成は職員と共同で取り組みたい」との気づきがあった。

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	保 10 (a) ・ b ・ c
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	保 11 a ・ (b) ・ c
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	保 12 (a) ・ b ・ c
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	保 13 (a) ・ b ・ c

評価機関のコメント

園長は、ISOや第三者評価についての研修を受けて、サービスの質の向上について日々学んでいる。また、園長を補佐する役割の主任保育士やベテラン保育士が協力して運営に取り組んでおり、園長が職員から私的な相談を受けるなど信頼も厚い。
業務の効率化や改善活動に関しては、ISOの取り組みとしてPDCAサイクルを回す仕組みが構築されており、改善手法は定まっている。それらを有効に活用し、園長を中心とした一丸の体制の中で、中・長期計画や事業計画を推進していくことを期待したい。

評価対象 II 組織の運営管理

II-1 経営状況の把握

		第三者評価結果
II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
II-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	保 14 (a) ・ b ・ c
II-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	保 15 a ・ (b) ・ c
II-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	保 16 (a) ・ b ・ c

評価機関のコメント

法人本部からの報告やISO審査結果、定期的な提携税理士による経理情報から、園長・主任保育士が園運営を取り巻く環境を分析している。また、併設する子育て支援センターから、利用者のニーズを収集している。ただ、それらの情報が園長や主任保育士で止まってしまい、職員間で検討する機会が乏しく、職員周知に至っていない。事業計画を策定する際にも重要な情報であると考えて、職員に報告する機会も必要と考えたい。

II-2 人材の確保・養成

		第三者評価結果
II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
II-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	保 17 a ・ (b) ・ c
II-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	保 18 a ・ (b) ・ c
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	保 19 (a) ・ b ・ c
II-2-(2)-②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	保 20 a ・ (b) ・ c

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
II-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	保 21	a ・ ⑥ ・ c
II-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	保 22	a ・ ⑥ ・ c
II-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	保 23	a ・ b ・ ㉔
II-2-(4) 実習生の受入れが適切に行われている。			
II-2-(4)-①	実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取り組みをしている。	保 24	a ・ ⑥ ・ c

評価機関のコメント

<p>園長は定期的に職員と個別面談を行い、職員の相談に乗っている。人事考課の仕組みはあるものの、キャリアに応じた評価基準の設定は十分とは言えず、書式が有効に活用できていないとの自己評価があった。職員のモチベーションをさらに向上させるためにも、人事考課の仕組みについて情報収集し、園独自の仕組み作りにも取り組んでほしい。また、研修参加後には報告書を作成しているが、園長・主任保育士からの客観的な評価が無く、研修効果を向上させる工夫も足りない。</p>
--

II-3 安全管理

			第三者評価結果
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。			
II-3-(1)-①	緊急時(事故、感染症の発生時など)における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	保 25	a ・ ⑥ ・ c
II-3-(1)-②	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	保 26	a ・ ⑥ ・ c
II-3-(1)-③	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	保 27	㉔ ・ b ・ c
II-3-(1)-④	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	保 28	㉔ ・ b ・ c
II-3-(1)-⑤	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	保 29	㉔ ・ b ・ c
II-3-(1)-⑥	事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	保 30	㉔ ・ b ・ c
II-3-(1)-⑦	事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	保 31	㉔ ・ b ・ c
II-3-(1)-⑧	不審者の侵入時など対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	保 32	㉔ ・ b ・ c

評価機関のコメント

<p>防犯・消防・交通安全等、子どもの安心・安全な園生活を保障するためのマニュアル類を作成している。また、延長保育時におけるマニュアルも作成しており、場面に応じたマニュアルの整備ができています。</p> <p>感染症にについて、園で流行した場合だけでなく、地域で流行した場合にも掲示板にて情報提供を行っている。併設した子育て支援センターとも連携して、情報交換を行っている。地域の自主防災に関する会議にも参加しており、地域と連携した災害対策を行っている。</p>
--

II-4 地域との交流と連携

			第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
II-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	保 33	㉔ ・ b ・ c
II-4-(1)-②	保育所が有する機能を地域に還元している。	保 34	㉔ ・ b ・ c
II-4-(1)-③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	保 35	㉔ ・ b ・ c

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。			
	II-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	保 36	Ⓐ ・ b ・ c
	II-4-(2)-② 関係機関等との連携が適切に行われている。	保 37	Ⓐ ・ b ・ c
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。			
	II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	保 38	Ⓐ ・ b ・ c
	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	保 39	Ⓐ ・ b ・ c

評価機関のコメント

子育て支援センターを園内に建設し、地域の子育て相談所として近隣住民が活用している。園庭開放や情報提供など園の持つ機能を地域へ還元する事例が増えており、今後の活躍に期待できる取り組みといえる。
 町内の社会教育推進委員会に出席して、民生委員や学校・町内会などと情報交換を行っている。また、フルタイム勤務の世帯が増加している社会情勢を考慮して、延長保育・乳児保育を開始している。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

			第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	保 40	Ⓐ ・ b ・ c
	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	保 41	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。			
	Ⅲ-1-(2)-① 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るなど利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取り組みを行っている。	保 42	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
	Ⅲ-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	保 43	Ⓐ ・ b ・ c
	Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	保 44	Ⓐ ・ b ・ c
	Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	保 45	a ・ Ⓑ ・ c

評価機関のコメント

法人主体でのアンケートが定期的に行われており、アンケート結果を分析し職員会議で検討している。また、行事ごとにアンケート用紙を配布して、保護者に匿名で受け付け箱へ入れてもらう仕組みがある。アンケートを収集・分析し、次回の行事に活かしているものの、保護者への報告は行っていない。何らかの形で報告を行えば、保護者の園への意識も高まるものと思われる。

Ⅲ-2 サービスの質の確保

			第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。			
	Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	保 46	Ⓐ ・ b ・ c
	Ⅲ-2-(1)-② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善計画を立て実施している。	保 47	a ・ Ⓑ ・ c

Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。			
Ⅲ-2-(2)-①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	保 48	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	保 49	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	保 50	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	保 51	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	保 52	a ・ Ⓑ ・ c

評価機関のコメント

ISOの内部監査システムがあり、サービス内容は定期的にチェックされて改善活動へとつながっている。今回の自己評価を職員全員で連携して行っており、各項目について職員から気づきの意見が多く上がっている。自己評価をきっかけに、各職員に向上意欲が芽生えており今後の取り組みにも意欲的である。
保護者アンケートから、連絡の伝達にばらつきがあるとの声が上がっている。乳児クラスについては、保護者からの連絡事項も多いことも考慮して、職員間で連絡方法についての見直し・検討を期待したい。

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

			第三者評価結果
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	保 53	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	保 54	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。			
Ⅲ-3-(2)-①	保育所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	保 55	Ⓐ ・ b ・ c

評価機関のコメント

子育て支援センターには園の案内を設置しており、気軽に職員に質問することができる。入園説明会では、資料とプロジェクターを使い、詳しく説明している。乳児クラスにおいては年度途中での入園もあるため、体験利用時に面談している。途中入園の場合には、保護者の心的不安も大きいことから、情報提供を充実させて、保護者を安心させる工夫が子どもの情緒安定につながると考えたい。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

		第三者評価結果
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	保 56 (a) ・ b ・ c
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	保 57 (a) ・ b ・ c
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	保 58 (a) ・ b ・ c

評価機関のコメント

園の保育指導計画・ねらいを基に、担任職員がそれぞれの個性を活かして計画を作成している。週案では、担任職員が自己評価・園児の評価を行い、月案やデイリープランの作成時に修正・立案を行っている。乳児には個別の計画を作成して、家庭での生活環境や本人の特徴に合わせた計画作成を行っている。

Ⅲ-5 保育の固有サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-5-(1) 健康管理・食事サービスが適切に行われている。		
Ⅲ-5-(1)-①	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	保 59 (a) ・ b ・ c
Ⅲ-5-(1)-②	健康診断・歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	保 60 (a) ・ b ・ c
Ⅲ-5-(1)-③	食事を楽しむことができる工夫をしている。	保 61 (a) ・ b ・ c
Ⅲ-5-(1)-④	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	保 62 (a) ・ b ・ c
Ⅲ-5-(1)-⑤	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	保 63 (a) ・ b ・ c
Ⅲ-5-(1)-⑥	アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て適切な対応を行っている。	保 64 (a) ・ b ・ c
Ⅲ-5-(2) 保育環境が適切に整備されている。		
Ⅲ-5-(2)-①	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	保 65 (a) ・ b ・ c
Ⅲ-5-(2)-②	生活の場に相応しい環境とする取組を行っている。	保 66 (a) ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3) 保育内容が適切に行われている。		
Ⅲ-5-(3)-①	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	保 67 (a) ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-②	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対処している。	保 68 (a) ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-③	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	保 69 a ・ (b) ・ c
Ⅲ-5-(3)-④	身近な自然や社会と関われるような取組がなされている。	保 70 (a) ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-⑤	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	保 71 (a) ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-⑥	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮されている。	保 72 (a) ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-⑦	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	保 73 (a) ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-⑧	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	保 74 (a) ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-⑨	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	保 75 (a) ・ b ・ c

Ⅲ-5-(3)-⑩	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	保 76	① ・ ② ・ ③
Ⅲ-5-(3)-⑪	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	保 77	① ・ ② ・ ③
Ⅲ-5-(3)-⑫	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を考慮しながら行っている。	保 78	非該当
Ⅲ-5-(4) 入所児童の保護者の育児支援が適切に行われている。			
Ⅲ-5-(4)-①	一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	保 79	① ・ ② ・ ③
Ⅲ-5-(4)-②	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	保 80	① ・ ② ・ ③
Ⅲ-5-(4)-③	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに保育所長まで届く体制になっている。	保 81	① ・ ② ・ ③
Ⅲ-5-(4)-④	虐待を受けていると疑われている子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	保 82	① ・ ② ・ ③

評価機関のコメント

モンテッソーリ教育に基づいた教育用具・玩具が配置され、子どもの自主性を大切にされた支援に取り組んでいる。一日の予定を絵カードを使って説明しており、園児の誰もが理解できるように工夫している。また、お茶会の時間を設けて、日本の伝統的な文化に触れる機会を設けている。

園内には活用できるスペースが広くある。子どもたちの自主・自発の心を育むためにも、コーナーごとに遊び場を設ける等の工夫を期待したい。